



調べる 考える 解決する

静岡県立中央図書館
本の道しるべ▶▶▶8

静岡県関係の地図を調べる

「古い住宅地図が見たい。」「江戸末期の静岡の絵図は?」「富士登山のための地図がほしい。」
利用の多い静岡県関係の地図の調べ方を、地形図と住宅地図を中心にをご紹介します。
当館は皆様の「調べる」をお手伝いします。ご不明な点がありましたらレファレンスカウンターの職員にお気軽にお尋ねください。

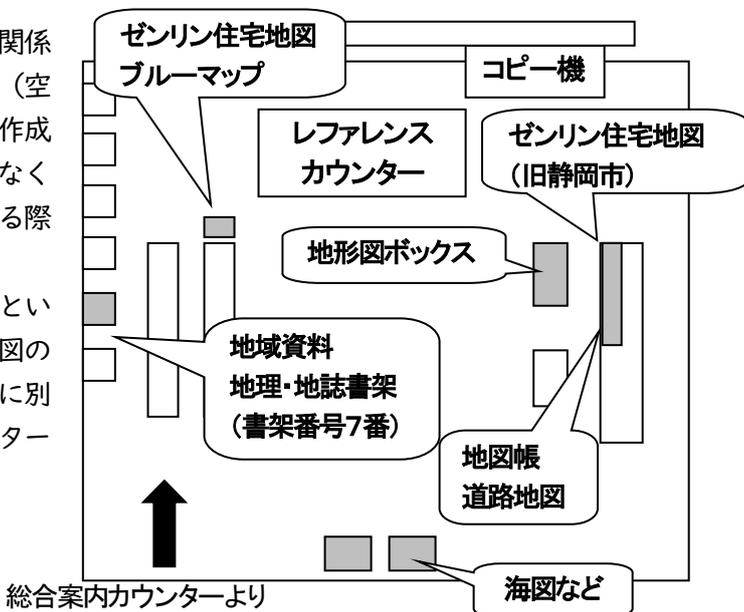
○ 地図目録で調べる

静岡県立中央図書館所蔵 静岡県関係地図目録

[静岡県立中央図書館 2020年] (当館請求記号 S025/13-8)

県立中央図書館が2014年までに収集した静岡県関係の地図を種類別に取りまとめた目録です。一般地図(空中写真含む)、絵図、主題図(特定の主題に基づいて作成された地図)について、一般資料・地域資料の区別なく収録しています。昭和以前に発行された地図を調べる際に役立つ資料です。

なお、静岡県関係の地図の多くは「S294」という分類番号にまとめられています。ただし、主題図のように違う書架・分類にあるものや、右図のように別置されているものもありますので、詳細はカウンター職員にお尋ねください。



○ 地形図を調べる

地形図 [国土地理院]

当館では、1万分1、2万5千分1、5万分1地形図の静岡県内分を所蔵しています(2万5千分1地形図は近県のものも所蔵)。古くは明治時代のものも所蔵しており、複数の地図を見比べることで、その地域の変遷(地形、土地利用、建物、道路、鉄道など)をたどることもできます。

地形図以外では、陸軍陸地測量部による『正式二万分一地形図集成 中部日本I』(S294/198)があります。また、地形図作成のために撮影された昭和20年代から50年代までの『米軍撮影空中写真』(S294/175)『静岡県下空中写真』(S294/184、S294/201)も所蔵しています。

地形図目録 [静岡県立中央図書館]

1万分1地形図、2万5千分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図のうち、当館で所蔵する資料をまとめた目録です。

内容は随時更新しています。地形図ボックス上でご覧いただけます。

図書館での地図の複写について

地図は1枚ものであればその枠内が、地図帳であれば図の一つ一つが著作物と見なされます。図書館での複写は著作物の半分までとなりますので、見開きの図の複写はどちらかのページのみとなります。ただし、国土地理院およびその前身が発行した地図については、測量・刊行・ネット上での提供以外の目的であれば、図の全体を複写することができます。

○ 住宅地図を調べる

住宅地図とは、建物ごとに居住者・事業所名などを掲載した地図帳で、より詳しい土地建物の情報を知ることができます。当館では、静岡県内の住宅地図を所蔵しています。

住宅地図 [ゼンリン・ゼンリン東海ほか]

『ゼンリン住宅地図』は、1970年頃から発行され始めた住宅地図で、住宅地図業界において多くのシェアを占めています。当館では静岡県内の住宅地図を発行の都度、購入しています。

『ゼンリン住宅地図』が発行される前は、県内でも複数の出版者によって住宅地図が発行され、これらは『住宅明細図』と呼ばれています。当館では、そのうちの一部を所蔵しています。手書きの地図も多く、また、残念ながら自治体全域がカバーされていないことがほとんどです。

ブルーマップ 住居表示地番対照住宅地図 [民事法情報センターほか]

『ゼンリン住宅地図』上に、公図番号・地番・都市計画用途地域・建ぺい率・容積率などの情報を青字で記載したもので、不動産関係の手続きの際に利用されます。これまで伊東市、三島市、沼津市、富士市、静岡市、焼津市、藤枝市、磐田市、浜松市を範囲としたものが数年おきに出版されています（県下全域が毎年出版されているわけではありません）。

土地宝典

『土地宝典』（『地番地積地目入図』などの書名のものもあります）は、地番・地目・地積・所有者などを記録した地図帳で、戦前より地域ごとに発行されています。住宅地図が発行されていない時代の詳しい土地の利用・所有関係が調べられますが、1冊のカバーする地域は狭く、目的の地域のもが見つかる可能性は高くありません。当館では何冊か所蔵があり、地域資料の書架（S294）や書庫出納でご提供しています。

静岡県・全市町村の住宅地図（目録） [静岡県立中央図書館 2014年]

上記の住宅地図及び住宅明細図、ブルーマップなどについて、当館で所蔵する資料をまとめた目録です。住宅地図の棚、またはレファレンスカウンターでご提供しています。

○ インターネットで調べる

地図・空中写真・地理調査 [国土地理院]

地形図を作成している国土地理院のウェブサイトです。地図・空中写真や、地形図の過去の図歴などの閲覧ができます。

⇒ <https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>

また、日本地図センターのウェブサイト (<https://www.jmc.or.jp/>) でも国土地理院の地図情報の提供と販売を行っています。

Google マップ [Google Inc.]

インターネットでの地図サービスは複数ありますが、そのうち Google マップは、地図や航空写真、地形やストリートビュー（地図上の地点から見える景色）などの表示の他、地図上にあるお店やサービスの検索やルート検索、マイマップの編集など、多彩な機能を持っています。

⇒ <https://www.google.co.jp/maps/>

MAPPLE 法務局地図ビューア [株式会社マップル]

2023年に登記所備付地図のデータがインターネット公開されました。そのデータをマップ上に反映したもので、地番等を確認することができます。公開されている範囲は一部ですが、ブルーマップの刊行のない地域も含まれているため、お互いに補完することができます。

⇒ <https://labs.mapple.com/mapplexml.html>

